

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年10月12日
【四半期会計期間】	第16期第2四半期（自平成24年6月1日至平成24年8月31日）
【会社名】	株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
【英訳名】	create restaurants holdings inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岡本 晴彦
【本店の所在の場所】	東京都品川区東五反田五丁目10番18号
【電話番号】	03(5488)8001（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役 川井 潤
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東五反田五丁目10番18号
【電話番号】	03(5488)8001（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役 川井 潤
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第2四半期 連結累計期間	第16期 第2四半期 連結累計期間	第15期
会計期間	自平成23年3月1日 至平成23年8月31日	自平成24年3月1日 至平成24年8月31日	自平成23年3月1日 至平成24年2月29日
売上高(千円)	17,605,118	18,746,746	34,624,754
経常利益(千円)	1,982,516	1,823,698	3,558,313
四半期(当期)純利益(千円)	476,042	862,868	1,314,569
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	475,893	860,190	1,284,310
純資産額(千円)	5,319,202	6,585,803	6,127,239
総資産額(千円)	14,578,087	20,739,092	16,514,476
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	31.08	56.34	85.84
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	36.5	31.8	37.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	889,624	1,634,557	2,936,367
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	997,667	1,235,352	2,017,504
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	17,704	2,604,203	1,217,849
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,194,660	6,960,537	3,808,525

回次	第15期 第2四半期 連結会計期間	第16期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年6月1日 至平成23年8月31日	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	36.41	40.81

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第15期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、平成24年3月1日付で株式会社ルモンデグルメの全株式を取得し、新たに子会社に加わっております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景とした堅調な国内需要のもとで、緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州の債務問題、海外経済の減速、長期化する円高等、先行きが不透明なまま推移いたしました。

外食産業におきましても、消費者マインドの改善に伴う個人消費の緩やかな増加は見られたものの、電気料金の値上げや消費税問題等を背景とした消費者の節約志向の継続や、低価格販売競争の継続等、厳しい経営環境が続いております。

こうした環境の中、当社グループは、効率的な人員配置の継続、本社機能の活用等により、既存店舗の店舗力向上に注力してまいりました。また、優良案件に絞り込んだ出店や商況の変化に合わせた業態変更及び撤退等の迅速な判断を行い、レストラン15店舗、フードコート18店舗、合計33店舗の新規出店を行う一方、19店舗の撤退（うち9店舗は業態変更）を実施いたしました。また、3月1日付で当社グループに株式会社ルモンデグルメの7店舗が加わり、うち1店舗の業態変更を行った結果、グループ全体では合計41店舗の新規出店、20店舗の撤退（うち10店舗は業態変更）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,746百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は1,746百万円（前年同期比11.5%増）となり、経常利益1,823百万円（前年同期比8.0%減）、四半期純利益862百万円（前年同期比81.3%増）となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間においては、子会社の株式会社クリエイト・レストランツにて発生した消費税等免除益272百万円が営業外収益に計上されたため、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同四半期連結累計期間と比較して減少しております。

#### (2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが1,634百万円の資金増（前年同期比83.7%増）、投資活動によるキャッシュ・フローが1,235百万円の資金減（前年同期比23.8%増）、財務活動によるキャッシュ・フローが2,604百万円の資金増（前年同期は17百万円の資金減）、さらに新規連結に伴う現金及び預金同等物の増加額160百万円等を加味した、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は6,960百万円（前年同期比482.6%増）となり、前連結会計年度末に比べて3,152百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は1,634百万円（前年同期比83.7%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,775百万円、減価償却費603百万円等を計上した一方で、売上債権の増加687百万円、法人税等の支払額635百万円等があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって使用した資金は1,235百万円（前年同期比23.8%増）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出1,024百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出165百万円等があったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって得られた資金は2,604百万円（前年同期は17百万円の資金減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,900百万円及び短期借入金の純増額1,000百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出913百万円等があったことによるものであります。

#### (3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4)研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について著しい変動はありません。また、前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	63,600,000
計	63,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,314,832	10,524,738	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数100株
計	15,314,832	10,524,738	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年6月1日～ 平成24年8月31日	-	15,314,832	-	1,012,212	-	1,224,170

(注)平成24年9月19日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、保有する自己株式の一部を消却することを決議し、平成24年9月28日付で4,790,094株を消却したため、提出日現在の発行済株式総数は10,524,738株となっております。

## (6)【大株主の状況】

平成24年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目3番1号	6,290,000	41.07
株式会社後藤国際商業研究所	東京都港区新橋三丁目10番20号	4,907,000	32.04
岡本 晴彦	東京都港区	459,300	2.99
後藤 仁史	東京都港区	458,500	2.99
クリエイト・レストランツ 従業員持株会	東京都品川区東五反田五丁目10番18号	185,600	1.21
株式会社ユリッサ	東京都港区南青山四丁目17番40号	154,000	1.00
川井 潤	東京都世田谷区	150,000	0.97
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	106,400	0.69
岡本 梨紗子	東京都港区	98,000	0.63
岡本 侑里子	東京都港区	98,000	0.63
計	-	12,906,800	84.27

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,313,500	153,135	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,332	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	15,314,832	-	-
総株主の議決権	-	153,135	-

## 【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,808,525	6,960,537
売掛金	1,606,318	2,376,752
原材料	81,851	140,799
その他	476,349	471,211
流動資産合計	5,973,045	9,949,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,817,357	6,047,421
その他(純額)	1,554,006	1,584,568
有形固定資産合計	7,371,363	7,631,989
無形固定資産		
のれん	25,449	54,571
その他	25,161	52,595
無形固定資産合計	50,610	107,166
投資その他の資産		
差入保証金	1,950,876	2,029,440
その他	1,168,579	1,021,194
投資その他の資産合計	3,119,456	3,050,635
固定資産合計	10,541,430	10,789,792
資産合計	16,514,476	20,739,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	660,522	1,017,964
短期借入金	1,557,880	2,733,094
未払法人税等	620,900	713,244
店舗閉鎖損失引当金	114,632	21,564
資産除去債務	95,368	76,540
その他	1,931,356	2,332,599
流動負債合計	4,980,661	6,895,007
固定負債		
長期借入金	4,179,568	5,991,016
資産除去債務	1,078,541	1,126,813
その他	148,465	140,453
固定負債合計	5,406,575	7,258,282
負債合計	10,387,236	14,153,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,012,212	1,012,212
資本剰余金	1,224,170	1,224,170
利益剰余金	3,921,024	4,382,267
自己株式	44	44
株主資本合計	6,157,363	6,618,605
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	554	13
為替換算調整勘定	30,677	32,816
その他の包括利益累計額合計	30,123	32,802
純資産合計	6,127,239	6,585,803
負債純資産合計	16,514,476	20,739,092

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	17,605,118	18,746,746
売上原価	4,760,309	5,057,213
売上総利益	12,844,809	13,689,532
販売費及び一般管理費	11,278,927	11,942,866
営業利益	1,565,881	1,746,666
営業外収益		
協賛金収入	77,654	78,202
消費税等免除益	272,963	-
その他	108,700	39,181
営業外収益合計	459,318	117,384
営業外費用		
支払利息	31,115	36,053
その他	11,568	4,299
営業外費用合計	42,684	40,352
経常利益	1,982,516	1,823,698
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	13,322
特別利益合計	-	13,322
特別損失		
減損損失	221,498	51,046
店舗閉鎖損失	38,804	2,374
店舗閉鎖損失引当金繰入額	91,597	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	522,279	-
その他	81,401	7,635
特別損失合計	955,581	61,056
税金等調整前四半期純利益	1,026,934	1,775,965
法人税等	550,892	913,096
少数株主損益調整前四半期純利益	476,042	862,868
四半期純利益	476,042	862,868

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	476,042	862,868
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	148	540
為替換算調整勘定	-	2,138
その他の包括利益合計	148	2,678
四半期包括利益	475,893	860,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	475,893	860,190
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,026,934	1,775,965
減価償却費	526,732	603,812
減損損失	221,498	51,046
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	522,279	-
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	23,536	93,067
支払利息	31,115	36,053
固定資産除却損	34,019	7,635
売上債権の増減額(は増加)	722,284	687,313
その他の資産の増減額(は増加)	495,144	28,843
仕入債務の増減額(は減少)	220,469	331,179
その他の負債の増減額(は減少)	580,296	271,656
その他	49,501	36,453
小計	1,848,652	2,304,577
利息の受取額	101	387
利息の支払額	32,193	35,135
法人税等の支払額	926,936	635,273
法人税等の還付額	-	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	889,624	1,634,557
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	592,220	1,024,882
資産除去債務の履行による支出	48,334	47,171
差入保証金の差入による支出	13,502	78,265
差入保証金の回収による収入	131,635	80,613
関係会社株式の取得による支出	475,245	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	165,646
その他	0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	997,667	1,235,352
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	350,000	1,000,000
長期借入れによる収入	1,800,000	2,900,000
長期借入金の返済による支出	1,831,374	913,338
配当金の支払額	336,330	382,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,704	2,604,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	12,346
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	125,747	2,991,062
現金及び現金同等物の期首残高	1,320,407	3,808,525
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	160,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,194,660	6,960,537

## 【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	
(連結の範囲の重要な変更)	
第1四半期連結会計期間より、株式会社ルモンデグルメは平成24年3月1日付で同社の全株式を取得し子会社としたため、また当社の非連結子会社であった上海創思餐饮管理有限公司は重要性が増したため、それぞれ連結の範囲に含めております。	

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

## 【注記事項】

## (四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。
給与 4,641,593千円	給与 4,839,047千円
賃借料 2,768,899	賃借料 2,839,937

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年8月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年8月31日現在)
現金及び預金勘定 1,194,660千円	現金及び預金勘定 6,960,537千円
現金及び現金同等物 1,194,660	現金及び現金同等物 6,960,537

## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

## 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力 発生日	配当の原資
平成23年5月25日 定時株主総会	普通株式	336,924	22	平成23年2月28日	平成23年5月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

## 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力 発生日	配当の原資
平成24年5月30日 定時株主総会	普通株式	382,868	25	平成24年2月29日	平成24年5月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

当社グループは店舗による飲食提供を主な事業としており、報告セグメントは当該事業のみであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

当社グループは店舗による飲食提供を主な事業としており、報告セグメントは当該事業のみであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	31円08銭	56円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	476,042	862,868
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	476,042	862,868
普通株式の期中平均株式数(株)	15,314,738	15,314,738

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

## 1. 重要な自己株式の取得

当社は、機動的な資本政策の遂行を目的として、平成24年7月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付け(以下、「本公開買付け」といいます。)を行うことを決議し、本公開買付けに基づき、平成24年9月5日付で6,290,000株を自己株式として取得いたしました。なお、内容は以下のとおりであり

ます。

#### 自己株式の取得の内容

- ( 1 ) 取得した株式の種類 当社普通株式
- ( 2 ) 取得した株式の総数 6,290,000 株  
( 注 ) 発行済株式総数に対する割合41.07% ( 小数点以下第三位を四捨五入 )
- ( 3 ) 取得価額の総額 3,428,050,000 円  
( 注 ) 上記金額には、公開買付代理人に支払う手数料その他諸経費は含まれておりません。
- ( 4 ) 取得した期間 平成24年7月17日から平成24年8月14日まで
- ( 5 ) 取得方法 公開買付けの方法による

#### 2. 重要な自己株式の消却

当社は、機動的な資本政策の遂行を目的として、平成24年9月19日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、保有する自己株式の一部を消却することを決議し、平成24年9月28日付で4,790,094株を消却いたしました。なお、内容は以下のとおりであります。

#### 自己株式の消却の内容

- ( 1 ) 消却した株式の種類 当社普通株式
- ( 2 ) 消却した株式の数 4,790,094 株  
( 注 ) 消却前の発行済株式総数に対する割合31.28% ( 小数点以下第三位を四捨五入 )
- ( 3 ) 消却日 平成24年9月28日
- ( 4 ) 消却後の発行済株式総数 10,524,738 株

#### 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成 24年 10月 5日

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス  
取締役会 御中

## 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	原田 誠 司 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高橋 正 伸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングスの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年6月1日から平成24年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 強調事項

- 重要な後発事象（1. 重要な自己株式の取得）に記載されているとおり、会社は平成24年7月13日開催の取締役会における決議に基づき、平成24年9月5日付で公開買付けに基づき、自己株式を取得した。
- 重要な後発事象（2. 重要な自己株式の消却）に記載されているとおり、会社は平成24年9月19日開催の取締役会における決議に基づき、平成24年9月28日に保有する自己株式の一部を消却した。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。